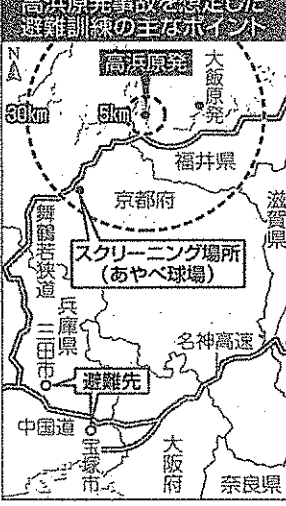


2/16
泉福

広域訓練 住民7100人規模

県など概要 一部兵庫に避難

内閣府と福井県などは十五日、関西電力高浜原発（高浜町）での事故を想定し、八月二十七日に行う広域避難訓練の概要を発表した。福井、京都府府県での屋内退避を含めた住民の参加者数は七千八百人余りで、うち千二百四十五人は車両などを使った実際の避難を体験する。住民が参加しての原子力防災訓練では全国でも過去最大規模。福井県での訓練では初めて県境を越えて避難し、一部は兵庫県まで行く。



国が昨年十一月にまとめた画の有効性を確認する。高浜原発の広域避難計一浜原発の半径三十キロ圏には福井、京都、滋賀各府県の十二市町（対象住民十七万九千四百人）が含まれる。今回の訓練は、複数府県にまたがるため調整に時間を要し、高浜原発3、4号機の再稼働（大津地裁の仮処分決定で停止中）から半年余りを経てようやく実施されることとなった。

の宝塚市と三田市、丹波市まで最大百三十キロ移動する。五十三キロ圏の住民避難では、参加者六百十五人全員に甲狀腺被ばくを抑える「安定ヨウ素剤」を配り、三十キロ圏の周辺で全ての車両や人に放射線量の測定（スクリーニング）と除染を受けてもらう。美浜町役場では、五百人ほどが詰め掛ける場面も想定し、迅速な除染などができるか確認する。県外に向かう避難者のために京都府綾部市のあやべ球場でも放射線量を検査する。

今回の訓練は、震度6弱以上の地震発生に伴い、運転中の高浜原発が停止。冷却機能も失われ、放射性物質が放出されたとの想定で実施する。四月の熊本地震を踏まえて、県道での崖崩れによる通行止めも想定する。

一方、京都府では屋内退避に二千九百人、実際の避難に四百十人の住民が参加する。府庁と高浜町の高浜オフサイトセンターとの連携を確認するほか、高浜町に隣接し一部が原発五キロ圏に含まれる舞鶴市など五市の住民が避難する。高浜原発から五キロ圏内を通らなければならぬ地区の住民は、陸路での避難が困難と想定し、船を使って避難する計画だ。

福井県と国などは二十八日、関西電力大飯原発（おおい町）での住民避難訓練を行う。実際の避難にはおおい、小浜、美浜の三市町の百六十五人が参加し、敦賀市や大野市などへの県内避難を行う。

福井県内では屋内退避に三千人、実際の避難には高浜、おおい、小浜、若狭の四市町の八百三十五人が参加する予定だ。避難する住民の大部分は越前市や越前町、鯖江市の嶺北地方に向かうほか、原発五キロ圏を中心にした二百四十人は、舞鶴若狭自動車道を通じてバスやマイカーで、兵庫県の宝塚市と三田市、丹波市まで最大百三十キロ移動する。

今回の訓練は、震度6弱以上の地震発生に伴い、運転中の高浜原発が停止。冷却機能も失われ、放射性物質が放出されたとの想定で実施する。四月の熊本地震を踏まえて、県道での崖崩れによる通行止めも想定する。

一方、京都府では屋内退避に二千九百人、実際の避難に四百十人の住民が参加する。府庁と高浜町の高浜オフサイトセンターとの連携を確認するほか、高浜町に隣接し一部が原発五キロ圏に含まれる舞鶴市など五市の住民が避難する。高浜原発から五キロ圏内を通らなければならぬ地区の住民は、陸路での避難が困難と想定し、船を使って避難する計画だ。

福井県と国などは二十八日、関西電力大飯原発（おおい町）での住民避難訓練を行う。実際の避難にはおおい、小浜、美浜の三市町の百六十五人が参加し、敦賀市や大野市などへの県内避難を行う。